

学校法人あすなろ学園

理事長 坂本佳一 殿

以下のように、学校法人あすなろ学園あすなろ幼稚園の学校評価を行いましたので、ご報告します。

学校関係者評価委員会

1 幼稚園の教育目標

- ① 子どもの生活の質を上げて保育活動の充実を図る。
- ② 教員研修の充実を図り、その成果を保育に反映させる。
- ③ 幼児教育の重要性を地域等に発信をしていく。

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

- ①子どもの生活の質を上げて保育活動の充実を図る。
- ②教員研修の充実を図り、その成果を保育に反映させる。
- ③幼児教育の重要性を地域等に発信をしていく。

3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

(※評価点は、A（十分に成果があった）・B（成果があった）・C（少し成果があった）、D（成果がなかった）で表す。） 評＝評価点

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評	幼稚園としての反省と改善策	評	意見
保育の計画性	あそびを中心とした保育計画がなされているか？ 教育課程が、適切に作成されているか？	B	年間計画を立て保育を行っているが、子どもの興味関心または成長に適切なのかについて月1回園長と話し合いを行ってきた。今後の保育計画をたてるため教育課程を見直し、子ども達の成長に合った保育活動を行っていききたい。	A	教育課程は、園の根幹になるもの。園長からの話では、まとめることに苦労があったようで、さらなる勉強が必要なことと理解できた。
保育のあり方 幼児への対応	ひとりひとりの園児の園生活の質を高める取り組みがなされているか？ 個々の子どもへの関わりが適切に行われているか？	A	子どもの気持ちに共感し受け入れながら関わる事はできている。子ども達に対し説明的な言葉掛けではなく子どもに感じさせる言葉掛けが出来るようにしていきたい。そのために保育者の一方的な感じ方や考え方だけで決めつけず、子ども達ならどう感じるのかという視点を持って保育を組み立てていきたい。	A	これからの育ちがある幼児にとって、場面場面での言葉がけが、とても大切になってくるので、子どもができる、できない、と言う視点だけではなく、気持ちをくみ取ることを丁寧に行ってほしい。
教師としての 資質や能力・ 良識・適性	人間性を高めるための勉強ができているか？	A	設定保育を考え実践することは、各自日々、反省を繰り返しながら毎日の保育の中で行うことができている。しかし計画、内容に気をとられ子どもが興味関心を持っていることに保育者がその場で対応することが出来ていないように感じる。日々変化している子ども達に目を向け流れのある保育への繋がり、子どもとの関係を深めていくために、保育者側の都合ではなく子どもの発言や思いを意識的に受け止め次の活動へ繋げていきたい。	A	教育のイノベーションとして、いろいろな制度が取り上げられるが、どれも最終的には「教師の質」にかかっているようなので、さらなる精進を期待する。
保護者への 対応	保護者との面談が、充実したものとなっているか？	A	保育者の思いを一方的に伝えるのではなく、保護者の子どもに対する願いや思いを引き出ししていけるような関係を継続するため保育者は積極的にどの保護者にも声を掛けていきたい。	A	いろいろな受け止め方をする保護者もいるので、大変なことだと思うが、丁寧にかつ的確に保護者との関係を作りたい。

地域の自然や地域とのかかわり	自然環境を生かした保育活動が行われているか？ 地元自治会との協力関係が出来ているか？	B	月1回のマラソン大会やお散歩で松林を利用したり、園外保育や木の実、葉っぱ集め等で各町内の公園へ足を運んでいる。3学期に年長児は小学校へ出向き、進級への期待を高めている。	B	防潮堤の工事もほぼ終了とは聞くが、現状、まだ松林や砂浜での活動が思うようにならないところがあるようだが、そこで活動が途絶えないようにがんばってほしい。
研修と研究	学年でチームを組んで、教育課程の改訂をしていく。 公開保育や研修をとおして幼児教育の知識を身につけていくことが出来ているか	A	5月の公開保育を通してホール、園庭、保育室など園全体の環境設定を見直し、どのような設定にしたら良いのかを職員同士で週1回話し合いをした。環境を変化させることで子どもの傾向などを知る事ができた。2月には外部講師を招いての研修を通して保育のありかた、進め方について学んでいきたい。	A	今年度もかなり充実した研修・研究が行えたようで、とても良いこと。 来年度も、充実した研修・研究に励んでほしい。
外部アンケート	保護者の学ぶ姿勢を援助できたか？	B	アンケートで「園への相談しやすさ」に14%の保護者が、あまり当てはまらないと回答したことを受けて、保護者が、ちょっとしたことで園に話や相談ができるようなシステムとして、月曜日の子育て相談があるが、なかなか浸透していないので、まずは、その告知の回数を増やしたり、園へ足を運んでもらえる場を増やすなど、検討が必要。	B	面談の他に、保護者が気軽に先生と話せるような、そんな機会をどう増やせるのか？ボランティアのお手伝いなどを増やしてみてもそんな場ができるかもしれない。要検討。

理事長 受諾 坂本 佳一 印